

第9回国語分科会国語課題小委員会・議事録

平成29年5月11日(木)
11時00分～12時00分
文部科学省13F1会議室

〔出席者〕

(委員) 沖森主査, 秋山, 入部, 川瀬, 塩田, 鈴木, 関根, 滝浦, 山田,
山元各委員(計10名)
(文部科学省・文化庁) 西田国語課長, 鈴木国語調査官, 武田国語調査官,
小沢専門職ほか関係官

〔配布資料〕

- 1 小委員会の設置について
- 2 文化審議会国語分科会国語課題小委員会委員名簿
- 3 文化審議会国語分科会国語課題小委員会の会議の公開について(案)
- 4 国語課題小委員会における審議スケジュール(案)

〔参考資料〕

- 1 文化審議会国語分科会運営規則
- 2 文化審議会国語分科会の会議の公開について

〔机上配布資料〕

国語関係答申・建議集
国語関係告示・訓令集
国語分科会で今後取り組むべき課題について(報告)

〔経過概要〕

- 1 今期第1回の小委員会の開催に当たり, 西田国語課長から挨拶があった。
- 2 事務局から配布資料の確認が行われた。
- 3 参考資料1「文化審議会国語分科会運営規則」に基づき, 委員の互選により, 沖森委員が国語課題小委員主査に選出された。
- 4 参考資料1「文化審議会国語分科会運営規則」に基づき, 沖森主査により, 森山委員が副主査に指名された。
- 5 事務局から配布資料3「文化審議会国語分科会国語課題小委員会の会議の公開について(案)」の説明があり, 国語課題小委員会の会議を公開することが了承された。
- 6 事務局から平成28年度「国語に関する世論調査」の結果(抜粋)について説明があり, 説明に対する質疑応答が行われた。
- 7 事務局から配布資料4「国語課題小委員会における審議スケジュール(案)」の説明があり, 今期の審議事項や進め方等について確認された。
- 8 沖森主査から, 主査打合せ会の設置について提案があり, 了承された。
- 9 次回の国語課題小委員会について, 平成29年6月23日(金)午後3時から5時まで文部科学省第2会議室で開催することが確認された。
- 10 質疑応答及び意見交換における各委員の発言等は次のとおりである。

西田国語課長

西田でございます。引き続きの御出席ありがとうございます。一言御挨拶をさせていただきます。

今期の国語課題小委員会では、前期に引き続きまして、コミュニケーションの在り方及び言葉遣いについて御検討いただきたいと存じます。

さて、経団連が実施しております企業の人事担当者へのアンケートで、新規採用者に求める力としてコミュニケーション能力が10年以上にわたって1位になっていることがよく話題になります。最近では日常の会話の中にもコミュ力があるとかないとかというような言い方を耳にするようになっております。しかし、コミュニケーション能力やコミュ力といった言葉が便利に使われ、いろんな問題を解決してくれる万能薬のように期待されている状況について、前期の国語課題小委員会では、もう少し冷静な見方が必要ではないかという御議論も頂いたところです。そのような認識に基づき、漠としたところのあるコミュニケーションというテーマのうち、言語に関する部分、言葉遣いを含んだ言葉による伝え合いの問題を主な対象として、更に御検討いただくと有り難いと考えております。

今期の終わりには是非報告を取りまとめさせていただいて、コミュニケーションに関して課題を感じている人々の手引となるような具体的な御提案を頂戴できればと思っております。それとともに、コミュニケーションに困難を感じている人々を社会全体でどのように助け、受け入れていくことができるかといった観点からも、御提言を頂ければと期待をさせていただいております。

委員の皆様方には、引き続き大変難しいテーマに取り組んでいただきますが、今後とも御指導のほどよろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが、御挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

沖森主査

主査として御指名いただき、昨年度に引き続きではありますが、国語施策の今期の課題を取りまとめたいと思います。今期、コミュニケーションの在り方についてと言葉遣いについてを取り上げるという、今後の課題にありますように、そしてまた、来年の2月をめどに報告を取りまとめるということでもありますけれども、実質的には9か月あるかないかぐらいでございます。何とぞお力添えのほどよろしくお願いいたします。

さて、副主査についてですが、本日御欠席ではありますが、昨年度も副主査をお願いしていた森山卓郎委員をお願いしたいと思います。

では、ここからは私が進行をいたします。

配布資料3「文化審議会国語分科会国語課題小委員会の会議の公開について（案）」ですが、この説明を事務局をお願いしたいと思います。これは、先ほどの国語分科会で御了解いただいた「文化審議会国語分科会の会議の公開について」に倣ったものです。国語課題小委員会の会議についても公開しようという趣旨です。では、事務局から説明をお願いします。

武田国語調査官

配布資料3について御説明いたします。参考資料2「文化審議会国語分科会の会議の公開について」の11に、「小委員会における会議の公開については、それぞれの小委員会において決定するもの」とあります。これに基づき、また、これまでの定めに従って、国語課題小委員会の会議の公開に関して事務局からお示しする案が配布資料3になります。

内容を簡単に説明いたします。まず、小委員会の会議は基本的に公開いたします。た

だし、主査の選任など人事に関わる案件、審議において公平かつ中立な審議に著しい支障を及ぼす恐れがある場合等については、公開をしない場合があります。

それから、傍聴について、傍聴を希望される方には事前登録をしていただきます。撮影・録音などの申出があった場合は、支障のない範囲で主査に御許可を頂くことになります。

そのほか、会議資料と議事録についても、特に支障を及ぼす恐れがない限り、公開いたします。これは文化庁ウェブサイトでご覧いただけるようになっています。議事録については事務局で作成したものを委員の皆様にお送りして、修正意見を頂いております。それを次の会議で改めて確認していただいた上で、最終的に公開するという手順を取っています。会議の度にお手数をお掛けすることになりますが、この点も御了承いただければと思います。以上です。

沖森主査

ただ今の御説明について、御質問等ございますでしょうか。（ 挙手なし。）

では、特に御異議がなければ、文化審議会国語分科会国語課題小委員会の会議の公開については御確認いただいたことといたします。

これに従って、この後、会議を公開することになりますが、その前に事務局から1点報告があるとのことですので。よろしくお願ひします。

事務局から、「国語に関する世論調査」について説明があり質疑応答が行われた。

それでは、これ以降の議事については公開することにいたします。

（傍聴者・報道関係者入室）

続きまして、配布資料4「文化審議会国語分科会国語課題小委員会における審議スケジュール（案）」と今期の審議事項などについて説明を事務局にお願いします。

武田国語調査官

それでは、配布資料4を御覧ください。今期は前期に引き続いて同じテーマで御議論いただくということですので、内容については深く触れませんが、簡単に今後のスケジュール及び審議事項についてお話し申し上げます。

現在のところ、国語課題小委員会は年間大体9回ぐらいを予定しております。10月あるいは11月に第2回の国語分科会がございます。このときに中間報告ということで、これまでの御議論をある程度まとめた形でお示しするようになります。そして、その後、最終的な成果物の完成に向けて更に議論を進めていくこととなります。そして、来年、平成30年2月頃に国語課題小委員会の中で報告案を決定していただき、2月から3月に行われる第3回の国語分科会で決定していただきます。今回の報告は国語分科会の報告ということになりますので、国語分科会で決定したものを3月開催予定の文化審議会の総会で内容について説明し、報告するという流れになっております。

審議事項については先ほど課長から説明があったとおりです。今年の2月の終わりに国語分科会があって、そこでそれまでの議論の流れを取りまとめたものを御提出いただきました。その後、前期の打ち合わせ会の最終回が3月中にございました。そこでは、この成果物の構成として、理論の部分と、それから実践的な内容の部分との構成に

してはどうか。特に、実践的な内容の部分についてはQ & A形式がいいのではないかという話を頂きました。

それから、「国語に関する世論調査」など、この間、国語課で調査を幾つか行っていますので、それについても今後議論の中で御紹介しながら、うまく成果物の中に盛り込んでいただけたらと考えています。

以上、簡単ではございますが、今後のスケジュールについてお話ししました。

沖森主査

ただ今の御説明に関して、御質問等ございますでしょうか。（ 挙手なし。）

では、続きまして、打ち合わせ会等のことについてお諮りしたいと思います。冒頭の西田国語課長の御挨拶並びにただ今の説明にありましたように、今期もコミュニケーションの在り方及び言葉遣いについてを中心に検討し、来年の2月にはまとまった成果物を示したいと思っております。そのために、前期と同様に今期もたたき台を作成するために主査打ち合わせ会を設けたいと考えております。構成メンバーですが、前期と同様、私、森山副主査のほか、石黒委員、入部委員、塩田委員、関根委員、田中委員、福田委員にお願いしたいと思っております。今期も昨年と同様のメンバーで進めたいと思っております。このような進め方について御了解いただけますでしょうか。

（ 了承。）

どうもありがとうございます。では、そのように進めてまいりたいと思います。

本日はまだ具体的な提示もなされていませんので、協議に移るのは次回からにいたしたいと思います。次回、6月23日ですが、しばらく時間が空くこととなります。その間に打ち合わせ会を発足させて、事務局と共に作業を進める予定です。次回の会議までにメール等で資料をお送りし、御意見を頂くようなことがあるかもしれません。その場合には是非とも御協力いただきたいと思います。

以上で、本日の、今期第1回の文化審議会国語分科会の国語課題小委員会を終了いたします。御出席どうもありがとうございました。